苗代のいらない稲つくり

農業構造改善事業

県下ではじめてのこころみとして大型の電熱育苗施設が三百八万三千円の事業費で、このほど西高野地区に建設されました。この施設は現在行なわれている水田と畑苗代に変わり、わずか十七坪ほどの家の中で電熱によって苗がつくられます。この方法によれば人工的に加温するので天候に左右されず、生育に最も適した環境で育てるため早く、しかも健康な苗が計画的にできます。

特に、苗代期の冷害や水害の心配もなくなり、省力化と生産性の向上に結びつく近代的な育苗方法です。

電熱育苗の方法は、まず木製の育苗箱に種をまいてから発芽室で三十二度から三十五度の温度で二日間置き、白色の幼芽が一せいに出揃うと緑化室に移動します。

緑化室で日光をあてて四日間おきますが一日目は十五度から十八度、二日目は十二度から十五度くらいにします。

次に、硬化期に入り苗を外気にふれながら健苗に育てて本田に移植します。

この育苗施設は約五十ヘクタール分の規模のもので、平均二日置きに約三ヘクタールの苗ができる計算です。

またこの施設は水稲ばかりでなくスイカやキュリの苗もつくれます。

過去三年にわたって実施されてきた農業構造改善事業が、土地改良事業を皮切りに、近代化施設の整備は水稲栽培の機械化体系がつくられたことは、本来の農業構造改善事業のように思われ、町としても大きな期待をよせています。

設備資金貸付額五十万円に

町中小企業融資額

昭和四十年八月に、町の中小企業者に資金を融資する条例が出来て以来、小口融資として利用されてきましたが、融資限度額が二十万円であったので、大きく発展している経済情勢の中では利用価値が低くなりつつあるため、ことしの一月一日から、次のように増額されました。設備資金と運転資金に分けて、設備資金は最高五十万円で貸付期間を二十四ケ月以内、運転資金は最高三十万円で十二ケ月以内、になりました。これは町内で一年以上同一事業を営んでいる方で条例により決められている事項にあてはまる場合は融資を受けられますのでじいさとしとしてご利用をお待ちしています。問い合わせは役場産業課か商工会へ。

四十三年産米の政府売渡期待数量決る

昨年は八十年来といわれる干害に見舞れましたが、農家において光町米穀売渡推進協議会が開かれ、政府売渡し予約目標について協議した結果次のとおり決定しました。

地区別	四十三年度目標数量	四十二年度売渡実績
日吉地区	一七、四六五俵	二一、五九〇俵
南条地区	一一、九二八俵	一六、三九一俵
東陽地区	一二、一八七俵	一八、六〇六俵
白浜地区	四、八二〇俵	八、二五二俵
計	四六、四〇〇俵	六四、八三九俵

普及所だより (二)

前回の三月一日号では育苗期間中の管理についてお知らせしましたので今回は、

一、田植えの時期について

本田に移植された苗は、新らしい根を張り、苗の生育に必要な養分や水分を吸収します。このような状態を「活着」と呼びますが、移植された稲は活着して初めて本田での新らしい生活を始めたことになります。

植え付けの早い地域ではすでに終るところもあると思いますが、今年こそは多収穫を目さして努力したいものです。水稲の早期栽培や早植栽培では、移植期をどこまで早められるかを明らかにする目安として次のようになっています。まず、水稲が活着するためには最低気温で七度から九度、平均気温で十二度から十三度、最高気温十七度から十九度、地温十四度を必要とするといわれています。

したがって当地域では早期限界が四月中、下旬となります。苗代日数で三十五から四十日、苗令は四から五枚（完全葉）位が標準になります。

二、除草剤の使い方

田植えが終ると雑草が出て来ます。除草剤の使い方も慣れて来ましたが、次の点を特に注意しましょう。

PCP・バムコン、マノックス、粒剤は十アール当り三キロで水深三センチくらい、植付後五日から八日くらいより撒布します。撒布してから十日間くらい排水しないこと、砂地や、水もちの悪い、いわゆる「ざる田」には使用しないこと、また、田植がごく早い場合は一番除草を行なってから撒布しましょう。

ニップ粒剤も上記の点を留意するほか、やわらかい苗や弱い苗、深水では使わない。

撒布後三日くらいは落水しない。ざる田では薬害が出やすい。

ゲザガード粒剤は田植後七日から十日くらい経てから使用し、高温時の使用は薬害の危険があります。

三、病害虫防除

苗代末期には、よく苗イモチが発生したり、植付けの遅れた地域でも見受けられます。

高温多湿で厚播きものには特に注意し、予防撒布をして本田に植付ましょう。

抗生物質剤のブラエス、カスミン等は濃度千倍、水和剤の場合十グラム（CC）を十リッターに薄め十アール当り七十リッターから百リッターを撒布します。

本田もよく見廻って早期発見につとめ、疑問に思ったら早期診断をして、適切な処置をとりましょう。イモチ病と合わせて殺虫剤等の混合も有効です。イネヒメハモグリバエが中心でスミチオン乳剤や、バイジット乳剤の千倍液、を十アール当り七十リッターから百リッターを撒布。

四、水管理

昨年度は水不足により思うようなかけ引きが出来ませんでしたが、水の使い方は特に重要なものの一つです。

稲の生育には欠くことができず、有効成分を補給したり、土をやわらかにして根を伸ばし、分けつをたすけ、地温を保ち肥料のきき方や稲の生育を調節します。

田植から活着までは、やや深水、活着後は浅水にして温度が低いときは幾分深めにし、よく見廻りをして水漏れを防ぎましょう。

これからの稲作管理

明るくすこやかに

◁赤ちゃんコンクール表彰式▷

国保の保健施設活動の事業の一つとして、今年も赤ちゃんコンクールの表彰式が行なわれました。

去年の八月の予選をとおってみごと入賞した赤ちゃんたちは、いずれ劣らぬ健康なからだです。

賞品のお人形やおもちゃにかこまれて、元気よく記念写真におさまりました。

入賞した赤ちゃんは次のとおりです。

木原　美佐ちゃん　橋場
長谷川　勝　くん　谷中
関　千恵子ちゃん　芝崎
日色千枝子ちゃん　谷中
吉田　剛　くん　長塚
越川ひと美ちゃん　橋場
吉田　浩一　くん　橋場
高橋　宏幸　くん　橋場
志村　真理ちゃん　橋場
伊藤　清隆　くん　尾垂
平野　初恵ちゃん　宝米
平山　敏也　くん　長塚
横渡　裕枝ちゃん　関

赤十字募金にご協力を!!

目標額一五七、九二七円

日本赤十字募金については毎年皆さんのご協力をいただき、年と共に強化されてきましたが、本年も例年どおり五月一日より社費の収納と、新社員の募集運動が全国的に展開されます。光町分区も社費目標額収納について運動を開始することゝなりますが、これが成果を収めるために、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

新井高度集団栽培事業組合特別賞受賞

昭和四十二年度に行なわれた海匝地方稲作集団栽培共進会に於て特別賞に入賞し、表彰式が去る四月十六日海匝支庁で行なわれ、支庁長より賞状と記念品を贈られました。

組合の今後一層の発展が期待されます。

農地集団化事業表彰される

昭和四十一年度に農業委員会が行なった新井地区の農地集団化事業並びに付帯農道事業が特に優秀な成果をおさめ、地域農業開発と農業の近代化に資するところ大なるものがあったとして、去る三月二十八日東京永田町、全国都道府県会館で挙行された関東ブロック優良地区表彰式の席上、農政局長表彰の栄に浴しました。これも偏えに関係各位のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。（農業委員会）

豚コレラの自主防疫について

ことしの四月一日から豚コレラの予防が自主防疫制度に変わりました。いままでこの注射料金は国が三分の一を補助していたのですが「自分の家畜は自分で守るべきだ」という考え方でこの補助をしないことになったため、料金が小豚で百四十円になりますが、県で三十円補助することになり、結局料金は百十円にきまりました。このように自主防疫の方向へかわってきましたが生産者は負担が大きくなるため、予防注射をする人が減るのではないかと心配もありますが、最近はどこにでも病菌が生息していると考えなければなりません。したがっていつ、どこで、どんな病気が発生するかわからずその症状も複雑になっておりますので予防注射は必らず行なうようにしてください。一たん発生すると自己の損ばかりでなく他人に非常な迷惑をかけることになります。

予防注射の申込みは役場産業課へ。

あいさつ運動にご協力を

光町では社会を明るくする運動の一環として「あいさつ」運動を推進することになりました、私達は日常生活を営むにあたり自分の力のみで生活する事は出来ず（他人）大ぜいの人と協同の力により始めて完全な生活がなし得るものであってここに敬意と感謝の念が抱かれるものであります。およそ世間からあいさつが失なわれた場合同士の親睦と融和を欠き社会生活も不安となり恐らく暗い社会が生れる事は当然でありましょう。お互に朝に夕にあいさつの交換をかわし明るい町づくりに御協力され町発展に御尽力下さるようお願いいたします。

挨拶で築こう明るい光町
ありがとう親と祖先にこの心
こんにちは明るい町の　あい言葉

わたくし達は、みなさんのおじいさんのそのまたおじいさんのまたおじいさんです。いや、いやもっと前から可愛がられ、育てられてきた栗山川です。春には美しいスミレの花を咲かせる林です。メダカの泳ぐ小川です。

ときには水浴びのお手伝いをしたり、ワラビやゼンマイをつんでもらったり、みなさんのお役にたたちました。

ところで、このころの世の中はずいぶん変りましたねエ。昔はほんとうに美しかったわたくし達の顔も、最近、はすっかり汚れてしまいました。みなさんの生活が向上したからともいえましょうか。

（ごみの多く出ることが文化生活のバロメーターにもなるとかだそうですね）

紙くず、猫や犬の死骸、野菜くずはいうには及ばず、このあいだなとは豚を何十頭も捨てられたのには閉口しました。

そういえば、わたくし（栗山川）を流れていったごみが木戸の海水浴場に流れついてひとかったそうです。たのしい夏の一ときを過ごしにきた人たちもあきれたにちがいありません。

そういえば町でもわたくし達の困っていることをわかってくれて、いろいろ方法を考えているそうです。焼却炉を建てる計画もあるとか。でも学校を建てたり、道路をつくったりで町も大変でしょう。

しかしきっと近いうちに、わたくし達の身だしなみがりっぱになるようにしてくれる に違いありません。

それまでの間みなさんも大変でしょうが、ごみや汚いものは穴に埋めるなり焼き捨てるなりの工夫をしてくださいね。

わたくし達に一番ふさわしいお化粧は、つくしやスミレメダカや鮒、それにひらひらと散る落葉なのですよ。